

# 第19回常総市公共交通活性化協議会 会議要旨

■開催 平成24年3月23日（金） 午前9：30～10：20 常総市石下総合福祉センター 大会議室

■出席 <委員> 落合委員，沼尻委員，◎鈴木委員（筑波大学），泰間委員（茨城運輸支局），牧瀬委員（茨城運輸支局），染谷委員（県交通対策室），武藤委員（関鉄），中川委員（市商工会），滝本委員（市社会福祉協議会），中村委員（市企画部長），染谷委員（市社会福祉課長），中久喜委員（市介護長寿課長）

※◎：委員長

<事務局> 市企画課 増田課長，小林課長補佐，金子主事

## ■内容

- 議案第1号 平成24年度事業計画（案）について  
議案第2号 平成24年度歳入歳出予算（案）について  
議案第3号 高齢者外出支援事業の実施に伴う70歳以上の高齢者の利用者の利用料金の変更について  
報告第1号 予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について  
その他 来年度の国庫補助活用の見通しについて  
予約日の差別化について

■協議内容 （◆：議長，●：委員，▲：事務局）

開会 午前9：30

## 【前回のおさらい】

▲：前回の会議内容を説明。

- 議案 ・計画事業に係る事後評価について  
報告 ・予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について  
・平成24年度当初予算要求について  
・常総市に係る公共交通の動向について

## 【議案第1号】

▲：「平成24年度事業計画（案）について」説明。

●：承認。

### 【議案第2号】

- ▲：「平成24年度歳入歳出予算（案）について」説明。
- ◆：運賃収入が約半分になっているが、これは議案第3号によるものと考えてよいか。
- ▲：お見込みの通り。高齢者半額により、減収分を介護長寿課より助成金として協議会へ入れてもらうことになる。
- ：承認。

### 【議案第3号】

- ▲：「高齢者外出支援事業の実施に伴う70歳以上の高齢者の利用者の利用料金の変更について」説明。
- ：利用券の残枚数、1か月あたりの販売枚数はどれくらいか。
- ▲：在庫としてあるもので2,200冊、すでに出回っているものは正確な数字は把握できない。  
未だに古いデザインの利用券を使用している利用者もいる。  
1年間に700万円程度の売り上げなので、月に230冊程度、売り切るまでには約10か月程度かかると考える。
- ：ハサミを入れて半券にすることは法的には問題ないが、車内にハサミを持ち込むと凶器と成り得るものなので、車内事故が起きた時に困るので検討してほしい。
- ▲：届出提出前までには再度事業者と協議して、検討します。
- ：250円でも安いし、半額となるとより利用者が増えると思うが、対応はどうするのか。
- ▲：車両の台数や運行時間を拡大する考えは現在のところない。ただ、病院等への通院のために使いたいのに予約できないといった声も聞くので、行き先によって事前予約日を変えるなど、主に医療機関等に行く方の予約が取りやすいような方策について考えていきたい。
- ◆：1日の目標利用者数を120人としているが、現在の運行システムで実現は可能か。
- ▲：効率的な運行を行えば、無理な数字ではない。日によっては、目標を超えている日もあるので、要因等について分析をしていきたい。
- ：承認。

### 【報告第1号】

- ▲：「予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について」説明。
- ：震災後の影響による利用状況の推移について、運行コストの算出の仕方について教えてほしい。
- ▲：利用状況については、直後は利用制限を行ったため減少幅は大きくなったが、その後は徐々に増加している。しかし、震災後の出控え傾向は続いているので、利用促進策を講じることで利用者の増加を図っていきたい。  
運行コストについては、経費を利用者数で割ると出てくるが、収支率は16%程度、一人当たりのコストは1,500円前後になるかと思う。
- ：路線バス事業についても出控え傾向が続いており、10%ぐらい戻ってきていない。その分が自転車

にシフトしたのではないかと思う。

【その他】

- ▲：「来年度の国庫補助活用の見通しについて」、「予約日の差別化について」説明。
- ◆：予約日の差別化については、例えば医療機関の予約を4日前にすると、頻繁に通う人にとっては次の予約がわかるのが直前になることもあると思うので、単純に長くすると逆に予約しづらくなってしまいうことも考えられるので、検討してほしい。
- ▲：スムーズに運行できるように、事前協議等についてはきちんとさせていただきたいと思う。

閉会 午前10:20